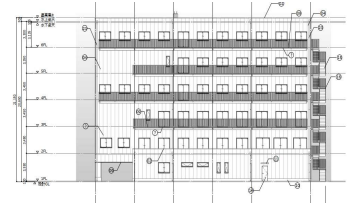


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区相模原0丁目貸施設新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県相模原市中央区相模原六丁目240番1	構造	S造
用途地域	商業地域・防火地域	平均居住人員	85 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2023年5月29日
敷地面積	827 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 南関東流通一級建築士事務所
建築面積	519 m ²	確認日	2023年5月29日
延床面積	2,838 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 南関東流通一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参照値: 100% ②建築物の取組み: 74% ③上記+②以外の: 74% ④上記+: 74% <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用</p> <p>外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用</p> <p>躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R)</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_m=0.84</p> <p>BEI_m=0.69</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R)</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂排出率 = 74 %</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される